

佳作 日本という選択



サマンナン ティルパティ
SAMANNAN THIRUPATHI
国 籍 インド
職 種 鋳造
実習実施者 株式会社藤田製作所
監理団体 製造産業技術協同組合

「本当に日本に行くの？ITの仕事を辞めて？」インドを出発する時に友達は皆そう言いました。私はインドではITエンジニアとして働いていました。しかし、同時に日本という国に強く惹かれていました。日本の文化、日本の技術、全てが私を惹きつけました。だからITの仕事を辞めて日本に行く事を決めたのです。

改めて自己紹介いたします。私の名前はティルパティです。年は三十四才。妻と六才の息子と一才の娘がインドにいます。日本に来て七カ月が経ちました。自動車の部品を作る仕事をしています。

この仕事はITとは全く違いました。体を使う仕事、細かい作業、長い立ち仕事。最初はとても苦労しました。ある日、難しい作業をした時に日本人の先輩にほめられました。どんなに嬉しかったか、今でも忘れられません。言葉のことで苦苦労しました。先輩の説明が理解できませんでした。何度も作業を間違えました。でも、あきらめませんでした。毎晩疲れていても日本語の勉強をしました。今でも日本語能力試験に向けてがんばっています。

インドと日本は文化も習慣も大きく違います。時間を

守る事。ゴミを分別する事。このルールに慣れる事が大変でした。しかしこの違いこそが私を成長させました。このルールがあるから日本の生活はとても便利で、安全だと思います。電車は時間通りに来るし、町もとてもきれいです。丁寧に生活する文化は仕事にも生きていて日本の自動車業界をはじめとする工業技術は世界トップクラスです。また、日本人はとても親切で、困った時には助けてくれます。

妻はインドで二人の子育てとITの仕事と日本語能力試験というようにさらに上のステップを目指してがんばっています。

私が日本で経験した事を話し、夫婦で励まし合う時間が今の私にとって一番の宝物です。私には夢があります。子どもにも日本の文化や教育を経験させたいのです。家族と日本で生活する夢が毎日の励みです。

ITの仕事を辞めて日本に来るという選択をしたことは私自身の誇りです。日本語の勉強を通してあきらめないことを学びました。そして日本に来たことで家族の大切さを改めて感じました。

日本に行くという選択は私の人生を大きく変えました。この選択が正しかったと証明するために、これからも全力で挑戦していきます。